

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社西武ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9024 URL <https://www.seibuholdings.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長兼COO （氏名）西山 隆一郎

問合せ先責任者 （役職名）執行役員広報部長 （氏名）多々良 嘉浩 TEL 03-6709-3112

半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月2日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	259,587	2.9	31,308	△7.3	29,549	△2.2	19,887	△74.2
2025年3月期中間期	252,269	5.6	33,789	6.2	30,204	3.7	77,011	180.5

（注）包括利益 2026年3月期中間期 18,717百万円（△76.6％） 2025年3月期中間期 79,945百万円（89.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	76.42	76.39
2025年3月期中間期	255.90	255.81

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	1,623,452	544,901	33.2
2025年3月期	1,834,120	567,128	30.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 539,270百万円 2025年3月期 561,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2026年3月期	—	20.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	511,000	△43.3	40,000	△86.3	36,000	△87.5	26,000	△89.9	102.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 24社 (社名) Ace Hotels Worldwide Inc. ほか23社、除外 1社 (社名) -

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	323,462,920株	2025年3月期	323,462,920株
2026年3月期中間期	66,771,293株	2025年3月期	58,232,238株
2026年3月期中間期	260,246,173株	2025年3月期中間期	300,945,359株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

- (注) 1 株式給付信託が保有する当社株式を、期末自己株式数に含めております(2026年3月期中間期 3,304,500株、2025年3月期 3,521,400株)。また、株式給付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数(中間期)の計算において控除する自己株式に含めております(2026年3月期中間期 3,406,002株、2025年3月期中間期 185,955株)。
- 2 連結子会社が保有する自己株式(当社株式)の当社帰属分を、期末自己株式数に含めております(2026年3月期中間期 48,291,930株、2025年3月期 48,037,414株)。また、連結子会社が保有する自己株式(当社株式)の当社帰属分を、期中平均株式数(中間期)の計算において控除する自己株式に含めております(2026年3月期中間期 48,026,305株、2025年3月期中間期 22,139,370株)。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び不確実な要因に係る仮定を前提として作成しており、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

業績予想(2026年3月期の連結業績予想)に関する事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(中間連結損益計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における経営成績の概況は、保有物件の流動化や国内ホテル業におけるインバウンド需要の取り込み、鉄道業における需要の増加などにより、営業収益は、2,595億87百万円と前年同期に比べ73億17百万円の増加(前年同期比2.9%増)となりました。営業利益は、賃上げを含む人件費や設備投資の増加にともなう減価償却費等の各種費用の増加などにより、313億8百万円と前年同期に比べ24億80百万円の減少(同7.3%減)となり、償却前営業利益は、588億61百万円と前年同期に比べ18億90百万円の減少(同3.1%減)となりました。

経常利益は、295億49百万円と前年同期に比べ6億55百万円の減少(同2.2%減)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、198億87百万円と前年同期に比べ571億24百万円の減少(同74.2%減)となりました。

各セグメントにおける業績は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメントの名称	営業収益			営業利益			償却前営業利益		
	当中間 連結会計期間	前年同期比 増減	前年同期比 増減率 (%)	当中間 連結会計期間	前年同期比 増減	前年同期比 増減率 (%)	当中間 連結会計期間	前年同期比 増減	前年同期比 増減率 (%)
不動産事業	44,584	5,341	13.6	8,730	2,907	49.9	12,876	1,329	11.5
ホテル・レジャー事業	120,566	2,553	2.2	9,696	△3,768	△28.0	18,000	△2,823	△13.6
都市交通・沿線事業	77,805	1,584	2.1	8,360	△1,738	△17.2	20,301	△659	△3.1
その他	33,067	2,269	7.4	4,794	465	10.8	7,116	592	9.1
合計	276,023	11,749	4.4	31,581	△2,133	△6.3	58,294	△1,561	△2.6
調整額	△16,436	△4,432	—	△273	△347	—	566	△329	△36.8
連結数値	259,587	7,317	2.9	31,308	△2,480	△7.3	58,861	△1,890	△3.1

(注) 1 調整額については、主に連結会社間取引消去等であります。

2 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

(不動産事業)

不動産事業の営業収益は、2025年2月28日に実施した東京ガーデンテラス紀尾井町の流動化にともなう賃料剥落があるものの、保有物件の流動化などにより、445億84百万円と前年同期に比べ53億41百万円の増加(同13.6%増)となりました。営業利益は、増収により、87億30百万円と前年同期に比べ29億7百万円の増加(同49.9%増)となり、償却前営業利益は、128億76百万円と前年同期に比べ13億29百万円の増加(同11.5%増)となりました。

(ホテル・レジャー事業)

ホテル・レジャー事業の営業収益は、海外ホテル業におけるマウナ ケア ビーチ ホテルの改装工事にともなう影響や、地震の予言による一部アジア地域からの国内ホテル利用控えがあったものの、国内ホテル業におけるインバウンド需要の取り込みや値上げの取り組みなどにより、1,205億66百万円と前年同期に比べ25億53百万円の増加(同2.2%増)となりました。営業利益は、賃上げを含む人件費等の各種費用の増加などにより、96億96百万円と前年同期に比べ37億68百万円の減少(同28.0%減)となり、償却前営業利益は、180億円と前年同期に比べ28億23百万円の減少(同13.6%減)となりました。

(都市交通・沿線事業)

都市交通・沿線事業の営業収益は、エミテラス所沢の開業影響など、外出需要の増加により、778億5百万円と前年同期に比べ15億84百万円の増加(同2.1%増)となりました。営業利益は、鉄道業の設備投資の増加にともなう減価償却費や、人件費等の各種費用の増加などにより、83億60百万円と前年同期に比べ17億38百万円の減少(同17.2%減)となり、償却前営業利益は、203億1百万円と前年同期に比べ6億59百万円の減少(同3.1%減)となりました。

(その他)

営業収益は、2024年12月25日に実施した奥ジャパン株式会社の完全子会社化や、埼玉西武ライオンズにおける観客動員数の増加などにより、330億67百万円と前年同期に比べ22億69百万円の増加(同7.4%増)となりました。営業利益は、増収により、47億94百万円と前年同期に比べ4億65百万円の増加(同10.8%増)となり、償却前営業利益は、71億16百万円と前年同期に比べ5億92百万円の増加(同9.1%増)となりました。

経営成績の概況の詳細については、本日(2025年11月13日)TDnet及び当社ウェブサイト(<https://www.seibuholdings.co.jp>)に掲載いたしました決算実績概況資料に記載しておりますので、TDnet及び当社ウェブサイト(<https://www.seibuholdings.co.jp>)より、決算実績概況資料をご覧ください。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回公表時(2025年5月14日)と変更ありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	235,323	72,542
受取手形、売掛金及び契約資産	31,238	30,079
有価証券	49,954	25,993
販売用不動産	6,924	7,413
商品及び製品	1,164	1,095
未成工事支出金	115	262
原材料及び貯蔵品	4,354	4,887
その他	30,833	28,337
貸倒引当金	△93	△94
流動資産合計	359,816	170,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	428,181	436,883
機械装置及び運搬具（純額）	67,798	67,941
土地	587,248	590,337
リース資産（純額）	15,164	15,120
建設仮勘定	177,661	115,832
その他（純額）	21,656	21,911
有形固定資産合計	1,297,711	1,248,027
無形固定資産		
リース資産	15	63
その他	30,614	41,936
無形固定資産合計	30,629	42,000
投資その他の資産		
投資有価証券	86,672	102,364
長期貸付金	264	298
退職給付に係る資産	38,003	37,571
繰延税金資産	2,380	3,214
その他	18,998	19,844
貸倒引当金	△356	△385
投資その他の資産合計	145,963	162,907
固定資産合計	1,474,304	1,452,935
資産合計	1,834,120	1,623,452

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,810	13,071
短期借入金	67,315	75,538
1年内償還予定の社債	—	10,000
リース債務	1,176	1,149
未払法人税等	89,492	7,446
前受金	136,569	90,724
賞与引当金	5,799	6,281
その他の引当金	2,250	1,908
資産除去債務	57	43
その他	107,609	53,653
流動負債合計	430,079	259,817
固定負債		
社債	50,000	40,000
長期借入金	535,064	515,404
鉄道・運輸機構長期未払金	3,464	3,200
リース債務	11,649	11,731
繰延税金負債	175,848	181,774
再評価に係る繰延税金負債	7,986	7,984
役員退職慰労引当金	390	361
役員株式給付引当金	651	756
その他の引当金	2,232	2,620
退職給付に係る負債	15,319	15,606
資産除去債務	924	930
その他	33,381	38,363
固定負債合計	836,912	818,733
負債合計	1,266,992	1,078,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	97,139	97,799
利益剰余金	508,816	522,058
自己株式	△185,490	△220,332
株主資本合計	470,465	449,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,994	33,004
土地再評価差額金	11,300	11,305
為替換算調整勘定	29,780	22,098
退職給付に係る調整累計額	24,036	23,335
その他の包括利益累計額合計	91,112	89,744
新株予約権	173	173
非支配株主持分	5,377	5,457
純資産合計	567,128	544,901
負債純資産合計	1,834,120	1,623,452

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
営業収益	252,269	259,587
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	196,682	204,942
販売費及び一般管理費	21,797	23,336
営業費合計	218,480	228,279
営業利益	33,789	31,308
営業外収益		
受取利息	74	369
受取配当金	684	829
バス路線運行維持費補助金	264	244
持分法による投資利益	—	62
その他	649	870
営業外収益合計	1,673	2,376
営業外費用		
支払利息	3,818	3,449
持分法による投資損失	14	—
その他	1,424	684
営業外費用合計	5,257	4,134
経常利益	30,204	29,549
特別利益		
固定資産売却益	29	87
工事負担金等受入額	39	57,448
補助金収入	102	84
負ののれん発生益	※1 54,096	—
段階取得に係る差益	※2 11,628	—
その他	425	28
特別利益合計	66,321	57,649
特別損失		
減損損失	232	47
固定資産売却損	13	0
固定資産除却損	185	307
工事負担金等圧縮額	37	57,444
固定資産圧縮損	72	73
災害による損失	295	18
その他	30	506
特別損失合計	866	58,398
税金等調整前中間純利益	95,660	28,800
法人税、住民税及び事業税	19,008	6,993
法人税等調整額	△456	1,716
法人税等合計	18,551	8,709
中間純利益	77,108	20,091
非支配株主に帰属する中間純利益	97	204
親会社株主に帰属する中間純利益	77,011	19,887

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	77,108	20,091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,823	7,010
為替換算調整勘定	11,112	△7,681
退職給付に係る調整額	△1,451	△702
その他の包括利益合計	2,837	△1,373
中間包括利益	79,945	18,717
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	79,849	18,514
非支配株主に係る中間包括利益	96	202

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	95,660	28,800
減価償却費	26,666	27,025
支払利息	3,818	3,449
工事負担金等受入額	△39	△57,448
工事負担金等圧縮額	37	57,444
負ののれん発生益	△54,096	—
段階取得に係る差損益(△は益)	△11,628	—
売上債権の増減額(△は増加)	3,157	1,625
棚卸資産の増減額(△は増加)	△597	△1,079
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,241	△6,648
前受金の増減額(△は減少)	772	171
利息の支払額	△3,812	△3,380
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,697	△85,247
その他	△4,529	△11,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,468	△46,940
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△57,408	△84,738
有形及び無形固定資産の売却による収入	114	353
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による収入	298	—
工事負担金等受入による収入	12,637	14,309
その他	△2,060	△12,846
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,418	△82,922
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	28,000	—
長期借入れによる収入	11,126	11,319
長期借入金の返済による支出	△31,969	△22,987
鉄道・運輸機構未払金の返済による支出	△307	△292
リース債務の返済による支出	△725	△654
配当金の支払額	△3,759	△6,627
自己株式の取得による支出	△0	△34,680
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出	△102	△229
その他	△391	423
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,869	△53,728
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,182	△711
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,101	△184,302
現金及び現金同等物の期首残高	31,830	276,953
現金及び現金同等物の中間期末残高	33,932	92,650

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(連結の範囲の重要な変更)

合同会社IKL匿名組合は、当中間連結会計期間に新たに出資したため、連結の範囲に含めております。

Ace Hotels Worldwide Inc. は、当中間連結会計期間に新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

Ace Group International LLCほか19社は、当中間連結会計期間に株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(持分法適用の範囲の重要な変更)

Modern Housing, LLC、Y Hotel Management Partners LPは、当中間連結会計期間に株式を取得したため、持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	不動産事業	ホテル ・ レジャー事業	都市交通 ・ 沿線事業	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
営業収益	39,242	118,013	76,220	30,797	264,273	△12,003	252,269
セグメント利益	5,822	13,464	10,098	4,329	33,714	74	33,789

(注) 1 「その他」の区分には、伊豆箱根事業、近江事業、スポーツ事業及び新規事業を含んでおります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 営業収益の調整額△12,003百万円については、主に連結会社間取引消去等であります。

(2) セグメント利益の調整額74百万円については、主に連結会社間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当社の連結子会社である株式会社西武リアルティソリューションズ(現 株式会社西武不動産)が株式会社NWコーポレーションの株式を追加取得し、当社の連結子会社としたことにともない、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当中間連結会計期間において54,096百万円であります。

なお、負ののれん発生益を特別利益に計上しておりますが、報告セグメントには配分しておりません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	不動産事業	ホテル ・ レジャー事業	都市交通 ・ 沿線事業	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
営業収益	44,584	120,566	77,805	33,067	276,023	△16,436	259,587
セグメント利益	8,730	9,696	8,360	4,794	31,581	△273	31,308

(注) 1 「その他」の区分には、伊豆箱根事業、近江事業、スポーツ事業及び新規事業を含んでおります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 営業収益の調整額△16,436百万円については、主に連結会社間取引消去等であります。

(2) セグメント利益の調整額△273百万円については、主に連結会社間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「ホテル・レジャー事業」セグメントにおいて、当中間連結会計期間に新たに設立したAce Hotels Worldwide Inc.を通じてAce Group International LLCの株式を取得しております。これにともない、同社及び同社の子会社19社を連結の範囲に含め、関連会社2社を持分法適用関連会社としております。当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間において12,817百万円であります。

なお、のれんは当中間連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（中間連結損益計算書に関する注記）

※1 負ののれん発生益

前中間連結会計期間に計上した負ののれん発生益は、持分法適用関連会社であった株式会社NWコーポレーションを連結子会社としたことにともない発生したものであります。

※2 段階取得に係る差益

前中間連結会計期間に計上した段階取得に係る差益は、持分法適用関連会社であった株式会社NWコーポレーションを連結子会社としたことにともない発生したものであります。